

(7) 指導経過

回	本人に対するカウンセリング	指導方針とのかかわり方	両親（特に母親）とのカウンセリング
5月	<p>① ● あたりさわりのない話をし て来所することへの抵抗を除 去し、遊戯療法を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に緊張しているため、 頻尿傾向がでた。そのため、 ひんぱんにトイレに行った。 <p>○ 父：たたかれて、外になげ られるのでこわい。</p> <p>○ 母：おこってばかりいるが、 好きだ。</p> <p>○ 先生：あまりよくわからない がやさしい。</p> <p>○ 友達：したい友達はいない。</p> <p>○ 風呂をわかすのが遅いので、 10時にならないと入れない。 その後、ふとんに入る。</p> <p>○ 家の中で、妹と遊んでいる だけで、友達と遊ばない。</p> <p>○ 学校は好きで、学校に行っ ているときは、サッカーなど をして遊んでいる。</p> <p>※ 人物画テストを実施する。 カウンセリング中でも視線を 合わせず、身体や顔の表情も かたい。</p>	<p>① 子 主訴内容についてのきき出し は、初回でもあるので行わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来所したことに、楽しい印 象を与えるようにする。 ・ 分離不安なので最初は、母 と妹も一緒に遊戯室に入れて 遊ぶようにする。 <p>② 親 その都度、話を整理して、主 訴を明確にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ攻撃的な行動をとるの か考えさせる。 ・ 家族関係をつくり直すよう に話の中で気づかせる。 ・ 母親自身の情緒安定が先決 であることに気づかせる。 ・ 生育歴を聞きだす中で、今 までの養育態度について、考 えさせる。 ・ 夜尿や頻尿傾向が、体の病 気ではなく、心理的な問題であ ることに気づかせる。 ・ 心理検査の結果を説明し、 本児の場合は、主に母親の過 保護が問題であることをわか らせる。 	<p>① ● 主訴の内容についてききだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早い口調で、自分の主張ば かりいい続けた。 <p>② ● 特に、夫との関係や本児への かかわり方について、しばって ききだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夫は仕事にばかり熱中し、 家庭のことはかえりみない。 ・ 夫は、厳しくしつけること が一番だと言っている。 ・ 本児は、妹にいじわるした り、いじめたりすることが多 く、注意すると、さらに、い じめる。 ・ しかってもべたべたついて くる。 <p>③ ● 生育歴についてききだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本児は、さか子で生まれた。 ・ 母乳でなく、ミルクで育て た。 ・ 厳しくしつけた。 ・ 小さいときから、頻尿傾向 と夜尿があり、現在も続いて いる。 <p>※ 親子関係テスト、エグゴラム を実施した。カウンセリングで は、しきりに、自分の主張の方 が、夫より正しいと早口でまく したてていた。</p>
6月	<p>② ● 遊戯室で攻撃性をださせる 等の遊戯療法を行う。</p> <p>④ ● ドラエモンの風船にはげ しくなぐりかかったり、足 でけとばしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャッチボールは、ボー ルの強さや高低で、心の動 きがわかるので、キャッチ ボールで人間関係づくりを はじめる。 ・ 妹を遊びに入れたら、安 心して遊びはじめた。 ・ トンネルくぐり、積木遊 びに夢中になっていた。 ・ 遊びに工夫がでてきたせ いか、自分から進んで遊ぶ ようになった。 ・ 母や妹と離れて他の人と 遊べる気ざしがみえはじめ 	<p>① 子 できるだけ攻撃性をださせ、 攻撃性を発散させるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と人との接し方を、遊び を通して気づかせる。 ・ 遊び方は、工夫しだいで、 楽しく、しかも、どこでも 遊べることに気づかせる。 ・ 心のうちを無意識にださせ るような遊びを選んで遊ばせ る。 ・ 自分から自由に遊びを選べ るようにすることで、自我を ださせる。 ・ 母や妹からしだいに離れて 遊べるようにする。 <p>② 親 自分のことばかり夫婦でいい あっていることに気づかせ、是 正できるようにカウンセリング をする。</p>	<p>① ● お互いが、認めあえる家庭づ くりと、子供の接し方について、 話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のことばかり言わず、 夫の考えも聞けるようになった。 ・ 子供の行動をよい方に解釈 してみれるようだ。 <p>② ● 父親の教育方針の片よりにつ いて話し合う。（父親と母親を 一緒に）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しくしつける必要がある ことを、父親は主張してやめ ない。 ・ 母親に矛盾を指摘されて、 考えこんでいた。 <p>③ ● 子供が、少しずつ変わってき ていることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家の中で遊んでいても、妹